



## 当別星空ウォッチャーズ 立川 一美さん

Tachikawa kazumi



当別町子ども会育成連合会主催  
(星の観察会の様子)

皆さんは最近、夜空を見上げたことはありますか？日々の生活に追われ、気持ちにゆとりが無いと言われている中、ふと何気なく夜空に輝く星を見て、気持ちが落ち着く瞬間がきっとあるはず。

今回は、天体観測をとおして星空の魅力を伝えている立川一美さん(太美在住)をご紹介します。

### 今も鮮明に残る記憶

**小学**4年生の時に担任の先生が、手作りの天体望遠鏡を持ってきて、星を見せてくれました。正直、かなりの衝撃を受けました。図鑑で見た月のクレーターはあくまでも平面ですが、実際に望遠鏡で見ると隕石が衝突した跡がクッキリと残っているのが見えました。その時の感動と興奮は今でも忘れることはありませんね。

### 環境が素晴らしい

**栃木**県出身ですが、初めて北海道で見た星空に感動したことを覚えています。そ

の根拠は何かと考えると、本州よりも空気が澄んでいるので星がハッキリと見えると思います。例えば、北斗七星は一般的に明るい星だと言われており、日本のどこでもすぐに探し出すことができますが、北海道では他の星も光り輝いているので発見しづらいんです。それくらい素晴らしい環境にあると言えるのではないのでしょうか。当別でもほんの少し住宅街から離れると街灯も少なく、星空を観察するのに適した場所ばかりですね。また、月が一番綺麗に観賞できるのは半月の時です。月が欠けている時期ほど空が暗く星は綺麗に見えます。また、月の表面にあるクレーターが一番きれいに観察できるのは半月の時です。

### 夜空にふるさとを思う

**育成会**のお手伝いをしていた時、今までやったことの無い、何か面白い事業が出来ないかという話になり、天体望遠鏡を所有している友人の協力を得ながら、平成8年に初めて子ども達を集めて星空観

察会を行いました。レンズを通して目の前に広がる星空に子ども達も喜んでいましたが、一緒に参加していた親の方が興奮していましたよ。現在は、当別町子ども会育成連合会主催の事業の「星の観察会」を実施しています。町内の小中学校を会場に、天体観測や星座にまつわる話をしたり、誰もが楽しめる内容で毎回、多くの親子が参加しています。将来、子ども達が成人してから、夜空に輝く星を見た時に、ふるさと(当別)を思い出します。そんな気持ちを持って欲しいですし、世代を超えた交流ができると嬉しいです。私はそのきっかけ作りのコーディネーター役として、これからも可能な限り協力していきたいと思います。

単純に星空を楽しむだけでなく、そこから「ふるさと」を想う気持ちを大切にしたいと願う立川さん。10月8日には珍しい「月食」があるそうです。皆さんも、少しの時間、部屋の電気を消して外で夜空を眺めてみませんか？

(8月20日取材)